

# 童

2023年1月31日。

1月中旬までは、今年は少雪かなと落胆（生活は楽ですが 子どもたちは苦しい！？）していましたが、親子雪遊びに合わせたように、素晴らしい雪の世界が大地に広がりました。しかも、さらさらの雪の状態が、連日の冷え込みで続いています。今までのフラストレーションを吹き飛ばすような親子雪遊び。そして、神様が運をもたらせてくれたような、好天と暖かさ。子どもたちそして大人達も、雪遊び 野外で過ごすには、最高のお天気に恵まれた親子雪遊び。

行事の楽しみは、旅行と同じように、その準備から始まります。シュタイナーセミナーの調理実習、親子雪遊びのラーメンの仕込みなど、全て 極寒の野外で 竈だけで準備作り上げる、他には類を見ない大地だけの過酷な調理です。世の中に数多くの調理教室はありますが、野外でしかも極寒で、ガス電気使用せず竈と火だけで作る料理、その上、野蛮で粗野ではなく、オーガニックで無農薬 無添加 そして美味しいものをセンス良く作る大地（自画自賛！！）の食事は、まさにものすごい価値のあるものだと自負しております。後で思い返せば、全て ドラマ 物語 だと思っています。

ラーメン作りにしても、タマネギ 6 キロ 鶏肉 2 キロ ニンニク ショウガ大量 粉 7 キロ 卵 60 もやし 20 などなど 大地のキャンプでは慣れっことですが、一般では これは 大変だと思いますが、実は 面白いです。野外だけに、汚れや掃除を気にせずに、思いきりできるからです。そして、麺作り。これも、皆でフォーメーションを組んでやれば面白い！！さらさらの粉から最後は麺になるまでの過程 光景は まさにドラマチック 物語 絵本の世界です。野外の料理は、背景が 今では 白い世界なので、とても のびのびできて 美しくて 幸せな気分になり、寒さなども忘れてしまいます。凍るほどの冷たい水。自分の母親達は、きつと 50年ぐらい前までは、こんな環境で育ててくれたのですね。



そんなラーメンを味わった親子雪遊び。暗いうちから大地に集まり、雪おろし ラジオ体操、なんと言っても ふわふわの大雪は、屋根からのダイブが一番の面白さ。青ちゃんも、小さい頃 たっぷり こんなして遊びました。作られた整備された公園やスキー場の遊び場よりも、身近で自然な地形での遊びの魅力、これらも、全て 想像力と、自分の中のもう一人の自分の声や憧れに素直になれるかが、キープポイントだと思います。

さあ、この雪の世界を、満喫しましょう。

## 【三砂ちづるさんへの手紙】

三砂ちづる様 はじめまして 大地の青山と申します。このたびは、長野県北信濃の里山にあります子ども園大地に、お越し頂くことになり、本当にうれしさいっぱいです。ありがとうございます。

大地は、30年前に、里山を自ら開拓し、作り上げてきている幼児から大人までの施設です。三砂様の著書にありますように、自分の中のもう一人の少年（推定年齢三歳から 18 歳程度か、常に場面に応じて上下しますが）の、常に嬉しいこと 楽しいこと 憧れることなどの声を聞いて、教育内容環境を作り上げ 実践してきています。まさに、超自己本位の自己満足施設です。

主に2歳から 10歳位までの子どもたちが過ごす幼稚園が主体ですが。（卒園年齢は 自分で決めるので 10歳位とあります）

大地の幼稚園のモットーは 「子どもと共に」「子どもがいるからこそ楽しい面白い」です。

昨今の少子化対策や育児の流れは 「お産から 子育てはしんどい、つらい、お金がかかる、自分の時間がない、仕事ができない 生活が苦しい・・・」などなど、ファイナンシャルプランナーなどが、死ぬまでの生活金銭計算をして、計画的に子どもを産みましょうなどなど、まず、一番に子育ては つらい 苦しいものだと 人々に先行販売しています。

それを お金を出します 長時間預かります 病児保育 休日保育 手ぶら保育園 育児を代行します 更に 母親が輝けるように 社会的評価 地位 自分らしさ、社会参加 社会貢献（これらは労働人口の減少で、母親達にも労働力になって欲しいという子どもよりも経済優先だと思っていますが）などの姿勢で、どんどん 育児の苦しさを強調し、うまく 経済維持にむかわされているように感じます。その結果 母親力がどんどん減少し、育児を下請けに出す傾向が強まってきていると感じます。

はじめから 苦しさを強調されたら、誰でも二の足を踏みます。30年前から、その傾向が強くなったのを感じ、苦しみの先行販売ではなく、育児の楽しさ 面白さを先行販売する幼稚園を作ろうとはじめたのが 大地です。

「ゆりかごが世界を動かす」 世界を動かす人間を産み育てる出産 育児の壮大な魅力 面白さ 子どもがいるからこそその魅力 楽しさ 面白さ 感動 涙・・・などを 味わう子どもがいるからできない」のではなく「子どもがいるからこそ味わう事ができる感動 体験 暮らし」を考え 実践していくことこそが、つまりのところ、真の少子化対策だと思いますがいかがでしょうか。人間は 詐欺話以外、はじめに 魅力的な話や面白さをされた方が その気になります。はじめに 苦しきやつらさや痛みなどを聞かされるとしんどくなります。

前置き 自己紹介が長くなりすいません。

三砂様の著書や主張などからして、子どもを産み育てる女性特有の魅力的尊厳的価値 素晴らしさ 喜び 感動 誇り等を 常に提示 提供 表明 暗示 示唆そして 呼びかけている のではないかと感じています。

男である自分でも、全くその通りだと 感動共鳴できる事ばかりです。（面白い事に、父親達も著書を読んでいます）

今回のご講演では、子どもを産み育てる魅力 楽しさ 奥の深さ 女性の尊厳 などを 語って頂き、三砂様の少子化に対する考えをお聞かせ願えればと思っています。

個人的には 少子化対策ではなく、ミニマムな経済ミニマムなコミュニティが形成されいくを社会に 痛み分けしながら 移行していくのではないかと考えています。

お会いできるのを楽しみにしております。よろしくお祈りします。